

令和2年度の優績職員・部署を表彰

令和2年度における業績などが優れた職員や部署を対象にした表彰式が、7月28日(水)にJA秋田なままげ会館で行われました。職員6人と4部署に佐藤広美組合長から表彰状と記念品が贈られ、役職員が功績を称えました。表彰された職員と部署は次の通りです。(カッコ内は令和3年7月末現在の配属先)

▽金融共済部門 佐々木あやか(秋田県農協ビル支店)、高橋志保(秋田駅東支店)、石井璃子(雄和支店)、御野場支店
▽営農経済部門 川越潤(経済課)、三浦芳人(弘戸農機センター)、松田彩良(雄和グリーンセンター)、米穀課、秋田地区営農センター、男鹿地区営農センター

表彰状を受け取る職員



メロン、スイカなどを秋田赤十字乳児院に贈呈

8月2日(月)、子どもたちに旬の農産物を味わってもらおう育成支援の一環で、若美産のメロン「秋田美人」10玉と県産のスイカ「あき夏丸」2玉を、当JAから秋田赤十字乳児院に贈呈しました。当JAの女性部も、手作りの「シトラスリボン」と部員が持ち寄った未使用のタオルを贈りました。

佐々木崇専務は「暑い日が続くので、旬の農産物で涼を感じて」と呼び掛けました。子どもたちは佐々木専務からメロンやスイカを受け取ると、笑顔を見せていました。同院の石川明子院長は「子どもたちはフルーツが大好き。おやつや食後のデザートに味わいたい」と話しました。

旬のメロンやスイカを受け取った子どもたち



NEWS & TOPICS

新しい天王予冷库が完成

園芸品目の生産拡大に対応するため、新たな天王予冷库が天王支店などのある当JA敷地内に完成し、8月3日(火)から稼働しています。13坪の庫内にはネギや花きなどが納められ、生産者から荷受けして各市場に向かうトラックなどに積み込まれるまで、農産物の品質の低下を防ぎます。

天王地区でネギを栽培する(農)ファーム北野の担当者は「箱数が多いため、予冷库が広く搬入しやすくなってよかった。夏場でも安心して出荷できる」と話しました。

当JAでは集出荷体制の見直しと施設の整備によって集出荷機能の効率化を進め、園芸作物のさらなる生産振興に取り組みます。

ネギが納められた予冷库内部



梨の出荷シーズン到来

当JA管内で、梨の収穫シーズンを迎えています。8月25日(水)に天王梨選果場で「幸水」の選果が始まり、追分地区では30日(月)から、男鹿地区では9月3日(金)から出荷が始まりました。生産者によると、今年の梨は例年以上の甘さに仕上がっているとのこと。

出荷開始に先立って8月23日(月)と27日(金)に行われた目揃え会では、生産者が各等級の基準や収穫時の注意点を確認し、適期収穫への意欲を高めました。

「幸水」の出荷は9月上旬から中旬に最盛期を迎え、続けて「豊水」や「かほり」、「あきづき」、「秋泉」などが県内外に出荷されます。

初出荷の「幸水」を選果する作業員

